

報道関係の皆様へ

日本の子宮頸がん検診率42.1%。これは主要先進国と比較して最下位レベルです
**4月9日（子宮の日）子宮頸がん予防・啓発アクション
 全国街頭キャンペーン取材のお願い**

20代から増え始め、30代で発症のピークになる子宮頸がん。

女性の80%が一生に一度は原因となるウイルスに感染する病気ですが、

日本の検診率は42.1%。アメリカ85.0%、イギリス78.1%、韓国51.7%などと比較しても非常に低い検診率です。
 (出典:OECD, OECD Health at a Glance 2015, Nov 2015)

日本最大級規模で全国47都道府県で実施する一斉街頭キャンペーンでは、

4月9日(月)の「子宮頸がんを予防する日(子宮の日)」を中心に、病院や検査機関で働く

がん発見のスペシャリストたちが、現場を飛び出し街頭やイベント会場で無料のニュースレター「まもること」他啓発素材を配ります。

「定期検診で防ぐことが出来るがんです」「検査はすぐに終わって、痛くないですよ」

そんな声が響く様子を、ぜひメディア等でご取材、報道いただければ幸いです。

【実施時期】

2018年4月9日 子宮頸がんを予防する日 本年は4月7、8日の土日を中心

【場所】

全国47都道府県

各地の開催情報 <http://love49.org/japan2018.html>

【内容】 細胞検査士などがん細胞発見のために現場で働く

医療従事者が、ニュースレター「まもること」他啓発素材を通行人などに配布。

地域ごとの派生イベントも行われます。

【共催】 細胞検査士会

【後援】 厚生労働省

※混乱を避けるためにも事前の申し込みをお願いしています。

ニュースレター「まもること」は
 LOVE49ホームページにて、PDFでご覧いただけます。

<取材に関するお問い合わせ>

認定NPO法人 子宮頸がんを考える市民の会

全体概要については

080-1213-9537(担当:ワタナベ)

<http://love49.org/>

watanabe@orangeclover.org



FBやツイッターでもキャンペーンを展開中。詳しくは問い合わせを。